市立函館病院に通院・入院中または過去に通院・入院された患者さままたはご家族の方へ

当院では、下記の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせください。

2026 年 09 月 14 日

研究課題名	筋萎縮性側索硬化症における臨床的特徴と予後関連因子：単施設後ろ向きコホート研究
研究機関名 長の氏名	市立函館病院・病院長　森下　清文
研究責任者名 所属	堀内　一宏・脳神経内科
[多機関共同研究] 研究代表者	なし
[多機関共同研究] 共同研究機関名 研究責任者名	なし
研究の目的	筋萎縮性側索硬化症（ALS）は、症状の始まり方や進行速度、呼吸・栄養障害が生じる時期に個人差があります。本研究では、当院で ALS と診断された患者さまの診療情報を用いて、診断時の臨床的特徴とその後の経過・転帰との関連を調べます。これにより、ALS 患者さまの臨床経過および予後に関連する因子を検討することを目的とします。
研究の方法	〈対象となる患者さま〉 2017 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに、市立函館病院脳神経内科で筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された方 〈利用する情報〉 電子カルテに記録された、生年月日、性別、発症時期、診断日、診断時の身長・体重・努力性肺活量（FVC)、発症部位、リルゾール・エダラボン・ロゼバラミンの開始日、胃瘻・非侵襲的換気（NIV）・気管切開下陽圧換気（TPPV）の導入日、転帰、最終転帰確認日を利用します。研究用の Study ID を付与し、所定のデータ収集ワークシートに記録します。 これらの情報を用いて、診断後の経過を記述し、死亡または TPPV 導入までの期間と診断時の臨床的特徴との関連を統計学的に解析します。データ収集・管理および個々の患者さまの情報を用いた解析は市立函館病院内で行います。
研究実施期間	実施許可日（情報の利用開始日：実施許可日）～ 2027 年 12 月 31 日
他の研究機関への試料・情報の提供	他の機関への試料・情報の提供はありません。北海道大学脳神経内科の矢部一郎医師は、個々の患者さまの研究データの提供・閲覧を受けず、解析計画および論文化に関する助言のみを行います。

外国への 試料・情報の提供	なし
個人情報の取扱い	この研究に関する資料やご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さまの個人情報や研究に支障となる事項以外はお知らせすることができます。 研究に利用する患者さまの情報に関して、お名前、住所など、患者さま個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用いたしません。
連絡先・相談窓口	北海道函館市港町１丁目 10 番１号 市立函館病院　　脳神経内科　堀内　一宏 電話：0138-43-2000（代表）